# 芹沢文学読書会

案内通信
No. 180
2026年6月24日(水)
(令和8年)

台風(たいふう)が
二(ふた)つも来(き)たり
大雨(おおあめ)ぞ…
松林庵主人

## 6 月 便 り

短い初夏が過ぎ、暑い夏となりました。梅雨となり、台風の7号・8号が続けて日本にやって来ています。西日本の各地に大雨が降っています。元気にお過ごしのことと思います。

アメリカのイラン攻撃が4ヶ月続き、ホルムズ海峡の封鎖で、世界的な石油ショックとなりました。ガソリンが急騰して、石油製品も値上げされています。60日間の交渉は中々進みません。トランプは秋の中間選挙を心配し、ネタニヤフはレバノン攻撃を止めません。トランプのウクライナ侵略は、ロシアに50万人もの戦死者が出て苦悩しているとか。侵略や戦争が、独裁者によって続けられています。全て止めてくれ!! ……。

梅雨が過ぎて、暑い夏になりますが、お元気に読書会にお出掛け下さい。

## 第180回・芹沢文学読書会 ☞ ❑

①日時; **7 月 12 日(日)** 午前10時～12時［＊平城は2日曜日午前です］

②会場; **大分県立図書館 研修室 No. 5** ［＊平常は研修室No.5 です］

③内容; 〔Ⅰ〕芹沢文学に関する話題や情報 10:00～10:10 am 自由に話す。

**〔Ⅱ〕芹沢文学読書会** 10:10～12:00 am ♩ ♪ ♫ ♬

○テキスト 新潮文庫**『結婚』芹沢光治良作**(1995年7月10日**新潮社**発行)

**200～208頁 「解説**(瀬沼茂樹)**」**

◇長編小説『結婚』の巻末の「解説」を**輪読して語ります。質問にも答えます。**

昭和22年10月から23年10月に雑誌＜婦人倶楽部＞に連載され、

昭和23年12月30日 大日本雄弁会講談社から**『結婚』**として発行された。

○テキスト② 小冊子**『芹沢光治良 ノート(6)』**(芹沢光治良記念文化財団 発行)

*先にお渡しした小冊子を一緒に読み語ります。持参して下さい。

☆**沼津市芹沢光治良記念館**の**記念企画展のチラシ**と**財団**の小冊子『**芹沢光治良ノート(6)**』を同封します。

＝次回は、**9月13日**(第2日曜日)午前の予定です。＝

**◎同封資料; 随筆「結婚をいそいではならない」芹沢光治良** 昭和51年4月1日発行の雑誌**＜暮しの手帖＞**第41号(**暮しの手帖社発行**) 120～123頁に掲載された随筆(人生論)です。年6回発行のユニークな雑誌〔表紙の絵や挿画は花森安治〕ですが、求められて寄稿したものと思われます。恋愛と結婚、そして子供のことや離婚のことまで書いて、若い人の導きとなったものです。御一読下さい。縮小コピー(×0.90)して同封資料とします。一読下さい。**〔同封資料提供者・中村輝子〕**

**芹沢文学・大分友の会** ✍ ✉ ☺ ♨

連絡先： 〒872-1651 大分県国東市国東町浜4765(番地) 小串信正方

☎ 0978(77)0565 郵便振替口座 01970-5-16072/芹沢文学・大分友の会

芥沢文学・大分友の会　　令和 8(2026)年 6 月 24 日(水)

会　報　No.１７９　　ふ　じ

編集・文責　小串 信正（おぐし　のぶまさ）

## ☆ 第179 回 ・ 芥沢文学読書会の報告　於 大分県立図書館・研修室No.5　♩ ♪ ♫ ♬

5 月 17 日(日)に第 179 回の芥沢文学読書会が、大分県立図書館の研修室No.1 で行われました。常連の参加者で、新潮文庫の**長編小説『結婚』**をテキストにして、あらかじめ読める人は、「第六章」「終章」を読んで来ることにしました。「第六章」では、津田と年子の幸せな新婚生活で一緒に音楽会に出掛け、ベートオヴェンの第五に「人間の運命」を感じ、小説を書こうと自覚。『空の花束』は持岡先生から褒められます。新子と父は信州に去り、年子は母を姉の家に連れて行った。「終章」では、年子は妊娠し、津田が治療した少女の洋館を借りられることになります。父の手紙が届き、「今や未来に希望少く、身辺寂寥たる感が深い」と書かれていました。母は父を許し、年子は子供を産み、津田との幸福な未来が約束されて、小説は終わります。この**『結婚』は戦前の両親の不幸な結婚と戦後の津田夫婦の幸福な結婚が対比**されています。

次回は、巻末の**「解説」**を読み語ります。**『芥沢光治良ノート(6)』**も読み語りましょう。

## ○令和 7(2025)年度の年会費が未納の方に納入をお願いします。　✌ ✈ ✪ ✡

**＊振替の年会費納入の確認が出来なくなっているので、同封の年会費入金報告用紙に、入金月日・金額・氏名を書いて、同封の封筒**(切手は貼っています)**に入れて、御面倒ですが返送して下さい。**寄付も受入れますが、無理をされないように。芥沢文学研究会の会員の方で、芥沢文学・大分友の会にも入会いただいている方々にも会員の継続をお願いいたします。

## 【芥沢文学案内 No.124】芥沢光治良生誕 130 周年 記念企画展　魂の交換 光治良×文化人

### 第１回 図録　沼津市芥沢光治良記念館　～運命の出会い～

芥沢光治良の生誕130 周年を記念した企画展が沼津市芥沢光治良記念館で開催されています。その題は「**魂の交換 光治良×文化人 ～運命の出逢い～**」と命名されています。**第１回**は 6 月 13 日(土)から 11 月 29 日(日)まで、**第２回**は 12 月 12 日(土)から 2027 年 5 月 30 日(日)までで開催されます。開館時間は 9:00～16:30 で、休館日は月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)。観覧料は高校生以上 100 円、小人 50 円。



記念企画展 図録 第1回の表紙

記念企画展の第１回の図録を沼津市芥沢光治良記念館からお送りいただきましたので、御紹介します。A3 の冊子です。**目次**としては、**企画展「魂の交換 光治良×文化人 ～運命の出逢い～」の開催について、一 魂の交換 光治良×文化人 ～運命の出逢い～(概括)、二 幼少期に出会った人 大山捨松、三 留学中に交流した人 三木清 アンリ・ベルクソン 佐伯祐三 宮坂勝 ぽーる・ヴァレリー 四 作家時代に交流した人(戦前) 小山敬三 島崎藤村 林芙美子** です。令和 8(2026)年 6 月 13 日発行。「当館ではこれを記念して、様々なイベントを実施することといたしました。」「光治良の織りなす幅広い人間模様を浮き彫りにする」「光治良の人となりや作品に親しむ契機になれば幸いです。」**「多岐にわたる交際から 18 人を選び、第１回・第２回の２回に分けて紹介」**と書かれています。沼津市芥沢光治良記念館に行ける方は、是非とも訪ねて、展示を見学することをお勧めします。

芥沢光治良先生の生年は、戸籍の明治 29 年に現在はなっていますが、本当の生年は明治 30 年だと私小串は思っていますから、生誕 130 年は来年の令和 9(2027)年が正しいと思います。第２回の展示が、来年の 5 月 30 日まで継続されるので、良いと思っていますが……。　ℕ